

伊集院保健所感染症情報

2025年第44週（令和7年10月27日～令和7年11月2日）

【お問い合わせ先】 ☎899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令！：インフルエンザ

管内流行発生警報発令！：A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎，伝染性紅斑

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI 2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第41週	第42週	第43週	第44週	先週からの増減	第43週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	126.50	121.50	107.50	130.50	↗	55.58	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.00	1.00	3.00	11.50	↗	2.72	↗
COVID-19	—	—	—	5.00	5.00	3.00	0.50	↘	2.18	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.58	↗
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	1.00	4.00	4.00	11.00	↗	2.26	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	2.00	0.00	↘	4.32	↗
水痘	2	1	1	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.39	↗
伝染性紅斑	2	1	—	1.00	4.00	0.00	2.00	↗	2.16	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.26	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.13	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	4.00	1.00	3.00	3.00	→	1.90	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC 11 月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です。

薬剤耐性（AMR）とは、本来であれば効果があるはずの抗菌薬が、感染症の原因となる細菌に効きにくくなる、または、効かなくなることです。薬剤耐性（AMR）に関する全国的な普及啓発活動を推進するため、毎年11月を「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」に設定しています。

「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」では、政府機関だけではなく、医療、介護、畜水産、獣医療等の民間の様々な団体が一体となって、普及啓発に関する取組を重点的に実施していくとともに、同月間を通じて国民一人ひとりの主体的な取組を促していくこととしています。

※詳細はこちらに

<https://www.caicm.go.jp/houdou/article/topics/20251031.html>

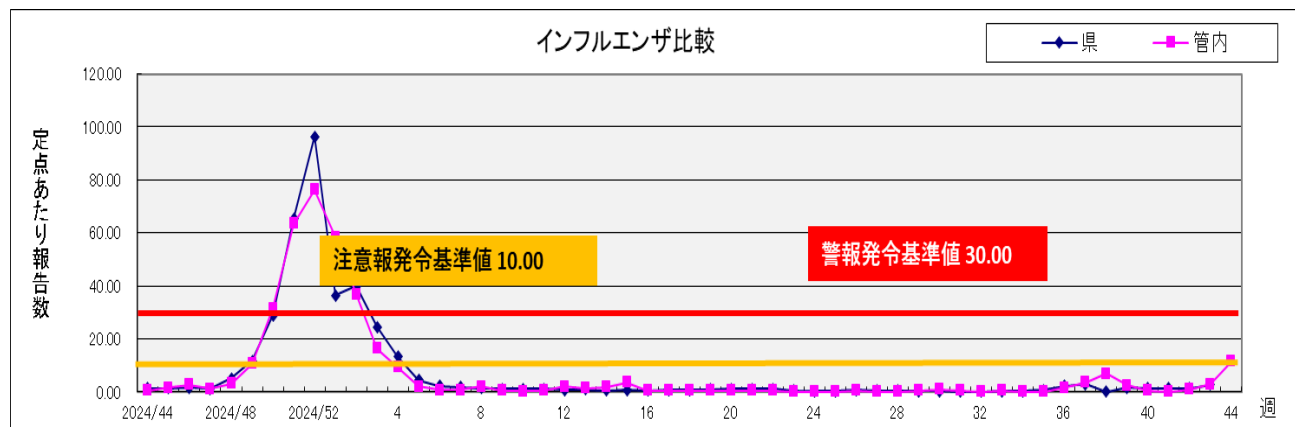


<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172.html>



● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生注意報発令！）

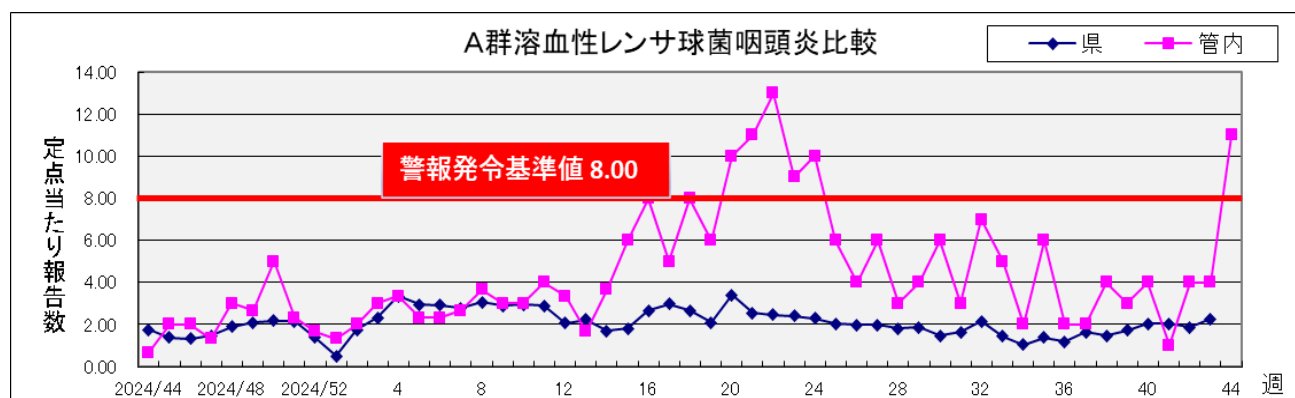


第44週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、43週の6人（定点当たり3.00）から17人多い、23人（定点当たり11.50）です。

年齢別の報告では、10～14歳（20人）、7歳・9歳・15～19歳（各1人）となっています。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令！）



第44週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、11人でした。年齢別では、6歳（3人）、3歳・4歳・5歳（各2人）、7歳・8歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 10/27～11/2（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが4人（型不明4人）、水痘が3人、流行性角結膜炎が1人、感染性胃腸炎が1人、溶連菌感染症が1人、COVID-19が2人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	水痘（みずぽ うそう）	流行性角 結膜炎	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症	新型コロナ 感染症
日置市	4	3	1	0	0	2
いちき串木野市	0	0	0	1	1	0
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	4	3	1	1	1	2